

ボーナスカット 「ゼロ」勝利宣言！！

12月9日、2016年の年末手当が支給されました。

私たち東海労は、1991年8月、会社と当時東海労組（当時鉄産労と合体し、現東海ユニオン）による排除攻撃があり、「労使協調」いわゆる労使癒着構造の路線と決別し、「労使対等」路線を堅持する新たに東海労を結成しました。

当時の葛西副社長は「朝日の前の雪だるま、一年でぶっ潰す」と豪語していました。

東海労結成以降、会社と当時東海労組による効率化推進と東海労の組織破壊攻撃が始まり、それが段々エスカレートしてきました。

そのひとつがボーナスカット攻撃でした。

会社からの利益誘導やボーナスカット攻撃により、組合員が脱退し、ユニオンへ加入しました。中には、ボーナスカット裁判の原告となる直前で、敵前逃亡した組合員（現ユニオン役員）もいました。

しかし、東海労は25年経った現在もしっかりと存在し、闘いを進めています。

2010年の夏季手当において、大二運分会で8名の組合員が不当で恣意的なボーナスカットを受けました。

2013年、竹本さん、前田さん、2015年、山口さんが「不当で恣意的なボーナスカット攻撃は断じて許さない」との強い怒りから、ボーナスカットを口実とした東海労組織破壊攻撃と、ボーナスカットを見せしめとした労務管理強化を阻止するために、労働審判～本人訴訟に立ち上がりました。

2016年の年末手当支給で、大二運分会の不当にボーナスカットされた組合員がついに、【ゼロ】となりました。

私たち大二運分会は、会社からの「不当で恣意的なボーナスカット攻撃」に抗して勝利した事を高らかに宣言します！

支援・連帯頂きました他労組組合員の皆様にお礼を申し上げ、更なる闘いに邁進します！

いざ闘わん！！